

# 日本、中国、韓国による 森林空間における保養活動推進フォーラム



韓国山林庁  
キム課長補佐の報告



中国国家林業草原局  
楊副司長の報告



地元長野県を代表して  
挨拶する中島副知事



主催者を代表して挨拶する  
織田長野県森林整備部長



森林浴発祥の地「赤沢自然休養林」にて集合写真

平成30年10月16日、中国、韓国の研究者、政府関係者を迎へ、日本、中国、韓国による森林空間における保養活動推進フォーラムを開催しました。

これは、2012年の日中韓首脳会談で出された森林経営などの分野での協力についての共同声明を受け開催されている、日中韓三か国部長級対話で合意された行動計画に基づき、長野県と日中韓三国協力事務局が長野県、長野県信濃町、長野県上松町にご協力いただき開催したものです。

近年、日中韓3か国において、森林空間での自然体験をリフレッシュや健康の維持・増進に役立てようとする取組が始まっており、日本では、健康を志向する個人的な動きのほかに、先進的な企業・医療保険者による森林空間での自然とのふれあいによる心と身体の健康づくりに取り組む動きも見受けられるようになってきました。

このような、森林の新たな利用形態といえる空間利用の取組が進みつつある中で、日中韓3か国が連携して森林空間における保養活動を推進していくことを目的として、各国がそれぞれの実例や取組を発表し、意見交換を行いました。

## フォーラムの概要

長野県信濃町の黒姫童話館にて行われたフォーラムでは、一般募集も含め135人が参加し、織田長野県森林整備部長、韓梅日中韓三国協力事務局次長による主催者代表あいさつの後、日本からは、日本クアオルト研究機構の小関行氏、全国健康保険協会の安藤伸樹氏、太陽生命保険株式会



赤沢自然休養林内の森林鉄道乗車（上松町）



ヨガで森の空気を取り込む参加者 森林セラピー®体験（信濃町）



伊勢神宮の遷宮に使われた御神木の切り株



天然ヒノキで癒される各国代表団

社の西森昭二氏、株式会社さとゆめの浅原武志氏、森林セラピーソサエティの瀬上清貴氏、森林保健学会の上原巖氏の6名が順に各機関で行っている森林空間における保養活動の取組などを報告し、中国からは、国家林業草原局の楊連清氏、中国林学会の劉立軍氏が、韓国からは山林庁のキム・トニル氏が、各国の取組状況を報告しました。

日本からの報告では、森林内を歩いたり活動したりすることでもたらされる身体的・精神的な健康面への効果や、地域の活性化や企業の健康対策につなげている事例の紹介が行われました。

中国からの報告では、中国では森林空間における保養活動を森林観光の重要な政策と位置づけ、法制度の整備や、国内各地で行われている保養活動を現地の実情に合わせて発展させるべく取り組んでいる現状が報告されました。

韓国からの報告では、森林教育や森林福祉促進に関する法律を制定したことや、社会問題の解決のために、森林療法や森林福祉を促進していることが報告されました。

### 日本の森林空間における保養活動を体験

日中韓3か国の一行は、フォーラムの翌日、長野県信濃町にて森林セラピー®体験、翌々日には、長野県上松町にて森林浴発祥の地である赤沢自然休養林の樹齢300年を超える天然ヒノキ林での森林浴体験を行いました。

いずれも森林空間における「癒し」の効果を体感できるもので、森林空間における保養活動の重要性を再認識させる体験となりました。

この3日間のフォーラムや体験を通じ、今後も各国がさらに連携を強化し、森林空間における保養活動を推進していくことを確認して、3日間の行程を終えました。

※森林セラピー®は、登録商標です。